

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>① 昨年の新潟中越地震や今年6月の岩手・宮城内陸地震のように、まさに地震が身近に発生しています。当地区においては、全ての自治会に自主防災会を組織し、防災機器等の整備を図り、実行できる範囲で順次防災訓練を行うなどして、防災意識の高揚や災害等に備える体制整備に努めています。</p> <p>組織としての体裁は一応整えたといえますが、実践組織として機能するかどうか、自主防災組織のあり方、期待される自主防災会等について市の考えをお聞かせください。</p>	<p>消防本部</p>	<p>現在の自主防災会の組織化率は、99.7パーセントになっており県内市町村の平均組織化率68.1パーセントを大きく上回るものとなっています。</p> <p>なお、組織として機能を果たすために、各自主防災会と消防団が連携を図り、消火や救急訓練さらに避難誘導訓練等を行っていますので、落ち着いて自信をもって行動すれば十分に組織の機能が発揮できるものと考えています。</p> <p>自主防災会は、日頃の訓練等を生かし災害時には、地区リーダーのもと地域住民が一体となって災害に立ち向かい被害を最小限に抑えるものです。</p> <p>今後とも、実践的な訓練や災害に即応した発災型対応訓練を繰り返し行うとともに、リーダー研修会や防災フォーラム等に積極的に参加して防災意識の高揚に努めていただきたいと思います。</p> <p>また、普段から、声かけや見守り活動など地域における各種活動との連携を深め、地域住民の協力関係を強固に構築することが、地域全体の防災意識の向上と安全で安心なまちづくりにつながるものと期待しています。</p>
<p>② 正法寺川の砂防堰堤は17年に登録有形文化財に指定され、県のアダプト事業により石倉集落民が管理費をいただき管理してきました。しかし、その管理費も減額となり、また住民の高齢化により管理が難しくな</p>	<p>建設課 文化振興課</p>	<p>住民の方々の高齢化により、機械を使用した草刈や伐採を伴う作業が困難になってきているとのことですが、県の維持管理業務の中では、今までのような、行き届いた河川管理は困難かと思われます。</p> <p>アダプト事業のあり方を含めて、県へ要望をしていきますが、西沼田遺跡公園につ</p>

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>ってきています。この文化財を大切に守っていくための良い方策を一緒に考えていただきたいと思います。</p>		<p>いては、地域でNPO法人を立ち上げて管理運営している例もあり、地域づくり委員会等でも検討いただければと思います。</p>
<p>③ 各地域において婦人会の役割は大きいものがあり、今後も地域活動を通じて地域社会の活性化への貢献が期待されていると思われま。しかし、年々会員の高齢化が進んでいる状況や会員の減少等の課題を抱えています。また、若妻会等の女性組織も少なくなっています。男女共同参画の世の中ですが、まだまだ各地域に女性組織が必要であると思っていますがその育成等について市の考えをお聞かせください。</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>19年5月の社会教育団体等の状況調査では、3年前の調査と比較し、単位組織数では、婦人会は6団体減少、若妻会は3団体減少しています。</p> <p>女性組織は、地域に果たす役割が高いことから、これまでも積極的な支援を行ってきたところですが、今後とも、事務局体制への人的支援や財政的支援、役員やリーダー養成研修会の実施など積極的な支援を行うとともに、他の社会教育団体との交流を進め、組織の活性化を図りながら、女性組織の育成を推進していきたいと考えています。</p>